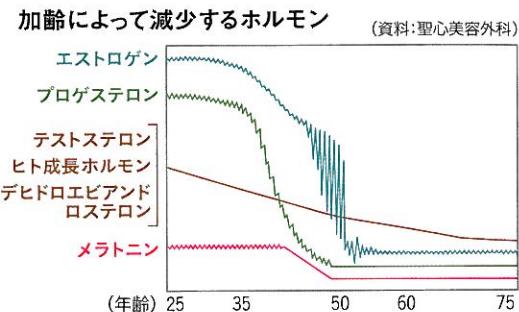


ホルモン療法

更年期症状の緩和だけでなく、「攻め」の発想で、バランスを整える、ナチュラルホルモン補充療法とは?



20代をピークに、40~50代で減っていくさまざまなホルモン。この減少が老化現象やさまざまな不快症状、病気につながる。

加齢によって減少するホルモン

20代をピークに、40~50代で減っていくさまざまなホルモン。この減少が老化現象やさまざまな不快症状、病気につながる。

性ホルモンだけでなく、ほかのホルモンも20代に比べて半減しているんです」と鎌倉達郎さん。

そもそも体内では100種類以上のホルモンが血液を介して巡回する。女性の臓器や器官の働きを調整しているのだ。

「テストステロン（別名、男性ホルモン）は、女性にもあり、骨密度と骨の形成を高め、エネルギーと性欲を増進させます。また、ヒト成長ホルモンは、骨や筋肉の成長、代謝、血糖値のコントロール、アンチエイジング、脂肪代謝など体のあらゆる成長にかかわっています。メラトニンは免疫系と内分泌系に働きかけるホルモンで、眠りの周期が調整されたり、ウイルスなどの外部からの侵入に対して体を守る働きをします。こうしたホルモンの減少は、更年期障害だけでなく、免疫力、気力、体力の低下を引き起こすのです」

これでは、恋どころではない!?
「こうしたさまざまなホルモン低下を引き起こすのです」

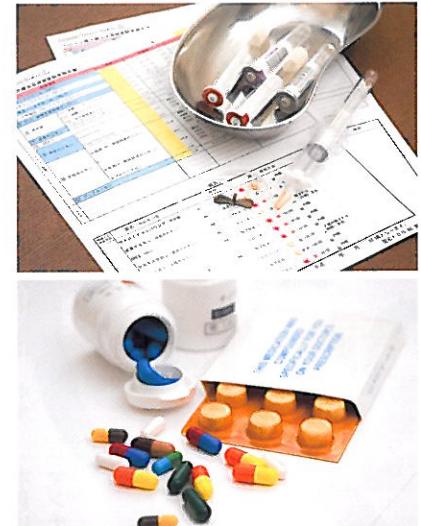
下に着目して誕生したのが総合型

「恋をするカラダ」を体の内側から考えた場合、若いころと決定的に違うのがホルモンだろう。左のグラフを見てもれば、一目瞭然。卵巣などから出る2種類の女性ホルモン、エストロゲンとプロゲステロンが激減しているのがわかる。「女性ホルモンが激減することによって、50歳前後に更年期症状というのが出てくるのは誰もがよく知っていることです。しかし、女性ホルモンだけではなく、ほかのホルモンも20代に比べて半減しているんです」と鎌倉達郎さん。

「テストステロン（別名、男性ホルモン）は、女性にもあり、骨密度と骨の形成を高め、エネルギーと性欲を増進させます。また、ヒト成長ホルモンは、骨や筋肉の成長、代謝、血糖値のコントロール、アンチエイジング、脂肪代謝など体のあらゆる成長にかかわっています。メラトニンは免疫系と内分泌系に働きかけるホルモンで、眠りの周期が調整されたり、ウイルスなどの外部からの侵入に対して体を守る働きをします。こうしたホルモンの減少は、更年期障害だけでなく、免疫力、気力、体力の低下を引き起こすのです」

東京・六本木にある「聖心美容外科 東京院」
0120-225-347 バイオアイデンティカルホルモン補充療法の1年間(初年度)の費用は約13万9500円(薬代は別途。一般的に3万5000円/月)

のナチュラルホルモン補充療法です。適切なホルモンを適量処方する、いわばオーダーメイド型で、更年期障害の治療を目的としたホルモン補充療法(HRT)とは違い、積極的に老化や病気を予防し、生活の質(QOL)を向上させるのが目的。また、当院では、合成ホルモンではなく、ヒト固有のホルモンを使用しますので、副作用が非常に少ないのも特長です」



写真上、血液検査によってホルモンのバランスや肝機能、腫瘍マーカーなどをチェックする。写真下、検査結果によって、女性ホルモンをはじめ、メラトニンなど、適したホルモン処方がされる。

恋とホルモンとの関係について素朴な疑問

Q 恋をすると女性ホルモンは増える?

A 女性ホルモンの量の減少は、卵巣機能の低下によって起きるものなので、恋愛やセックスの有無などにはあまり関係ありません。女性は年齢とともに物理的に女性ホルモンが減少していくのです。(池下育子さん)

Q 男性もホルモンを補充できる?

A 男性も緩やかではありますが、さまざまなホルモンが減少します。ですから50代の男性で、ナチュラルホルモン補充をする方もいますよ。ただし、女性のように急激な減少ではないため、その症状は重いわけではなく、気力の減少、性欲の減退などが主。仕事や女性関係によりポジティブになりたいと受ける方が多いようですね。(鎌倉達郎さん)

Q ホルモン補充で、性欲がアップする?

A 直接的に性欲がアップすることはできません。しかし、ホルモンバランスを整えることで、気力がアップしたり、膚の乾燥や性交痛に悩んでいた女性は、セックスに向きになれると言えられるでしょう。性欲アップするかどうかはメンタル面のほうが大きく影響すると思います。(池下育子さん)

Q 色気とホルモンは関係ある?

A 直接的には関係ありません。ですから、ホルモンを補充したからといって、色っぽくなるというわけではありません。ただし、エストロゲンは髪や肌に影響が大きいので、ホルモンを補充することで、つややかになったり、潤ってきた感じがあるのです。また、膚の乾燥などが改善されることなどによって、二次効果的に色気に関係していくかもしれませんね。

Q ホルモン補充で、妊娠できる?

A 閉経しているのは、卵巢の機能が衰えているためですから、たとえ女性ホルモンを補充しても、妊娠の可能性はありません。(池下育子さん)



鎌倉達郎さん

かまくら・たつろう★聖心美容外科 総括院長。キレイになる。若返るという美容医療を通じて、多くの人の人生の質を高めることをモットーとする。著書に『若い!』と言わせるための本(長崎出版)など。